

出前講座で対応可能なメニュー例

(時間や内容はご要望に応じてアレンジできます)

タイトル	内容	所要時間	準備物
こすって見つけよう!! いろんな形	フロッタージュの作品を見て、どんなものをうつしとったのかを想像してみる。その後、学校の中にある好きなものを各自紙にうつしとって発表する。意外だったり普段気づかなかったものの形や質感を実感する。(低～中学年)	45分程度	プロジェクター 紙 鉛筆
美術ってなにでできてるの? (鑑賞入門:体験型)	美術作品で使用されている素材について学ぶ。実際に手で触って違いを認識する。見えない状態で触ったり、持ったりしてみる(物質の触覚や重さを体感)(布、絹、紙、板、絵具(水彩、油彩)、粘土、土、貝、石、ステンレス、銅…)(3年生～)	40分程度	パーテーション (あれば、手を入れるボックス)
色あそび—気持ち を色であらわしてみよう。(入門編)	「あたたかい色」「つめたい色」、色によって印象が異なるということを学ぶ。また、色の組み合わせによって、見え方が変わることを学ぶ。(3年生～)	40分程度	プロジェクター (あれば、暗幕)
色あそび—気持ち を色であらわしてみよう。(実践編)	(物語を読んで、)連想された色を画用紙に表現する。複数の物語を用意。出来上がった作品を鑑賞し合う。(3年生～)	40分程度	絵具 画用紙等
おいしい絵画	高橋由一の鮭、セザンヌの林檎のある静物画、17世紀オランダの静物画など食べ物が描かれた作品を紹介し、どれが一番おいしそうか、なぜおいしそうなのかを考えてみる。(中～高学年)	45分程度	プロジェクター
あんな顔やこんな顔	ピカソ「泣く女」、レンブラントの自画像、アルチンボルドの野菜でつくった顔、浮世絵の大首絵など幅広い時代・地域の人の顔を描いた作品を鑑賞し、自分の顔(自画像)を描いてみる。(高学年)	45分程度	プロジェクター 鉛筆、絵具など 紙 手鏡
色を知ろう	印象派、新印象派(点描による作品)を鑑賞する。固有色、光の具合で変わる色の見え方、色・光の三原色、補色の関係など色にまつわる知識や面白さを紹介。(高学年)	45分程度	プロジェクター
名画のひみつ 遠近法ってなんだろう?	日本と西洋のものの立体感や空間の奥行きを表現した絵画作品を鑑賞する。作品に表されているテーマを対話型の鑑賞法でさぐったうえで、最後は絵の中の登場人物になって、写真撮影をする。(小学校高学年対象)	45分程度	プロジェクター

● 問い合わせ・連絡先

下関市立美術館

担当:渡邊、末武、原口

Tel:083-245-4131 / Fax:083-245-6768 / E-mail:kibijuts@city.shimonoseki.yamaguchi.jp